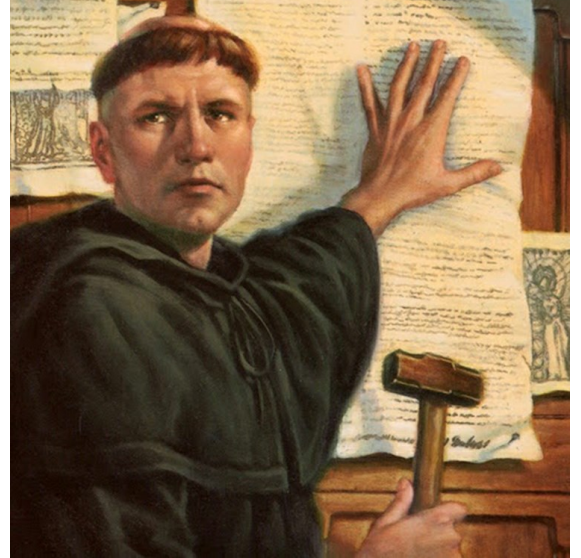


Japanese  
The Reformation & Martin Luther  
TCA-252REF

# 改革とマルチンルター

ー



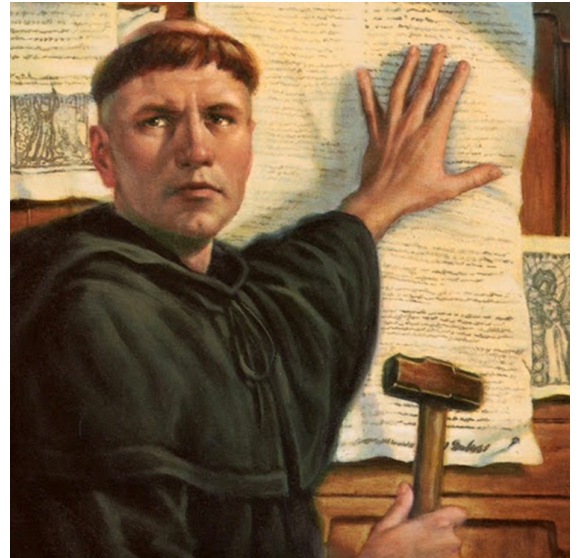
ウィリアム・マリオン・ブラハム



Japanese  
The Reformation & Martin Luther  
TCA-252REF

# 改革とマルチンルター

ー



ウィリアム・マリオン・ブラハム



## はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

## はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

たがたはふさわしい者たちです」。

これらの言葉はローマ8:33bでの言葉と同じくらい驚くべきものです、

「神が私を義と認めてくださるのです。」

(ウェイ訳バージョン)その神の義の白い光の中で、イエスが甘い声でこう言われるのが聞こえます、「彼らはわたしのものです。彼らは義の者たちです。彼らはふさわしい者たちです。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩みます。」

## 改革とマルチンルター

黙示録3:1b、

「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。」

黙示録3:2b

「わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。」

これは確かにとても変わっていることです。ここまでのすべての時代で、御霊はまずすべての真の信者たちを称賛してから、偽のブドウの木を非難しました。しかしこの時代での主と主の御言葉に対する理由のない無視が原因で主のこの5つ目の時代に対するメッセーのすべてが咎めの言葉となりました。

「わたしはあなたの行いを知っている。」

主の御前でどのような行いが主を不快にさせたのでしょうか。さて、それぞれの時代は次の時代と重なり

たがたはふさわしい者たちです」。

これらの言葉はローマ8:33bでの言葉と同じくらい驚くべきものです、

「神が私を義と認めてくださるのです。」

(ウェイ訳バージョン)その神の義の白い光の中で、イエスが甘い声でこう言われるのが聞こえます、「彼らはわたしのものです。彼らは義の者たちです。彼らはふさわしい者たちです。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩みます。」

## 改革とマルチンルター

黙示録3:1b、

「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。」

黙示録3:2b

「わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。」

これは確かにとても変わっていることです。ここまでのすべての時代で、御霊はまずすべての真の信者たちを称賛してから、偽のブドウの木を非難しました。しかしこの時代での主と主の御言葉に対する理由のない無視が原因で主のこの5つ目の時代に対するメッセーのすべてが咎めの言葉となりました。

「わたしはあなたの行いを知っている。」

主の御前でどのような行いが主を不快にさせたのでしょうか。さて、それぞれの時代は次の時代と重なり

合います。そのため4つ目の時代の行いは5つ目の時代でも続きます。これらのすでに知られている行いは：

聖霊によるリーダーシップは人の階級制度によって取って代わられました。

神の純粋な御言葉とその全ての人々への無償な利益は排除され、信条、教義、そして教則などに取って代わられました。

御霊の中での崇拜と御霊の賜物、そして聖徒たちの真の交わりは儀式と偶像崇拜、そして異教の祭りなどに取って代わられました。

マリアに対する崇拜はクリスチャンの崇拜の中でより大きい位置を占めるようになり、彼女は実質上神格に取って代わりました。そして御子はその至上の地位から教皇という人より低い地位に降ろされ、教皇は自分のことをキリストの代理と呼びました。

この恐ろしいアンチキリストの教会に反抗する人々は殺されました。その中に留めた人々は平民であろうと、王であろうと、自分たちが教会の人質になっていることに気づきました。彼らの命は自分のものでもなく、キリストのものでもない、彼らの身体、魂、そして霊はロー

合います。そのため4つ目の時代の行いは5つ目の時代でも続きます。これらのすでに知られている行いは：

聖霊によるリーダーシップは人の階級制度によって取って代わられました。

神の純粋な御言葉とその全ての人々への無償な利益は排除され、信条、教義、そして教則などに取って代わられました。

御霊の中での崇拜と御霊の賜物、そして聖徒たちの真の交わりは儀式と偶像崇拜、そして異教の祭りなどに取って代わられました。

マリアに対する崇拜はクリスチャンの崇拜の中でより大きい位置を占めるようになり、彼女は実質上神格に取って代わりました。そして御子はその至上の地位から教皇という人より低い地位に降ろされ、教皇は自分のことをキリストの代理と呼びました。

この恐ろしいアンチキリストの教会に反抗する人々は殺されました。その中に留めた人々は平民であろうと、王であろうと、自分たちが教会の人質になっていることに気づきました。彼らの命は自分のものでもなく、キリストのものでもない、彼らの身体、魂、そして霊はロー

思ではなく政治の意思を選んで世界に戻ってしまったとき、これらのわずかな者たちは神の御言葉を守り、主に栄光を捧げました。今神はその見返りに彼らに栄光を与えられます。彼らは白い衣を着て、主とともに歩みます。彼らは世で主と同一視したため、今主は新エルサレムで彼らと同一視されます。そしてその同一視はなんと素晴らしいものでしょう！それは私に喜びを与え、それと同時に主の謙遜を考えたときに涙を浮かべさせます。なぜなら主はこの世のリーダーたちがしているのと同じように、聖徒たちとは異なる色の衣を召されておらず、同じものを身に纏われるのに気付く殻です。いいえ、彼らは主に似て、主も彼ら似ておられます。彼らは主に似て、ヨハネが言ったように、「彼らは主をありのまま見ます」[1ヨハネ3:2]。

「彼らがそれにふさわしい者たちだからである。」これを仰られたのがどの方かに気づきましたか。それはイエス、栄光に値する方が自ら言われました。イエスは唯一御座に着いておられる方から巻物を受け取るのにふさわしい方です[黙示録5:1-10]。そして今このふさわしい方はご自分の聖徒たちに「あなたがたはふさわしい者たちだ」と言われました。ここにこの方、唯一裁くのにふさわしい方、(そしてもちろん全ての裁きは主に委ねられた[ヨハネ5:22])、そして主は言われました、「あな

思ではなく政治の意思を選んで世界に戻ってしまったとき、これらのわずかな者たちは神の御言葉を守り、主に栄光を捧げました。今神はその見返りに彼らに栄光を与えられます。彼らは白い衣を着て、主とともに歩みます。彼らは世で主と同一視したため、今主は新エルサレムで彼らと同一視されます。そしてその同一視はなんと素晴らしいものでしょう！それは私に喜びを与え、それと同時に主の謙遜を考えたときに涙を浮かべさせます。なぜなら主はこの世のリーダーたちがしているのと同じように、聖徒たちとは異なる色の衣を召されておらず、同じものを身に纏われるのに気付く殻です。いいえ、彼らは主に似て、主も彼ら似ておられます。彼らは主に似て、ヨハネが言ったように、「彼らは主をありのまま見ます」[1ヨハネ3:2]。

「彼らがそれにふさわしい者たちだからである。」これを仰られたのがどの方かに気づきましたか。それはイエス、栄光に値する方が自ら言われました。イエスは唯一御座に着いておられる方から巻物を受け取るのにふさわしい方です[黙示録5:1-10]。そして今このふさわしい方はご自分の聖徒たちに「あなたがたはふさわしい者たちだ」と言われました。ここにこの方、唯一裁くのにふさわしい方、(そしてもちろん全ての裁きは主に委ねられた[ヨハネ5:22])、そして主は言われました、「あな

待ってください!よく見てみてください。その木のてっぺんに、太陽の光の中で、いくつかの「初穂」[ヤコブ 1:18]、すなわち「わずか」な者たちがいて、彼らは神から生まれたので、神の御前で完全な者だとみなされます。神に満たされ、神の御言葉によって神とともに歩みます。

それらの「わずか」な者たちのために神に感謝いたします。

「彼らはわたしとともに歩む。」

それは神が言われることです。彼らの凜とした歩みに神はこの約束を与えられます。それは神が彼らのためにとっておかれた財産の一部です。もし彼らは人生の労苦と罫を神とともに歩み、栄光を神に捧げることが望むならば、神は彼らにほうびを与えられるつもりでした。神は私たちの愛の労苦を忘れられません。神は私たちが神を喜ばせようとする努力をいつも報いてくださいます。

はい、彼らは世界の中を歩いたが、その中に交じりませんでした。彼らは世界のシステムに自分たちに対して勝たせようとしたことがありませんでした。あの時代の著名な人々が政府のご機嫌を取るために御霊の意

待ってください!よく見てみてください。その木のてっぺんに、太陽の光の中で、いくつかの「初穂」[ヤコブ 1:18]、すなわち「わずか」な者たちがいて、彼らは神から生まれたので、神の御前で完全な者だとみなされます。神に満たされ、神の御言葉によって神とともに歩みます。

それらの「わずか」な者たちのために神に感謝いたします。

「彼らはわたしとともに歩む。」

それは神が言われることです。彼らの凜とした歩みに神はこの約束を与えられます。それは神が彼らのためにとっておかれた財産の一部です。もし彼らは人生の労苦と罫を神とともに歩み、栄光を神に捧げることが望むならば、神は彼らにほうびを与えられるつもりでした。神は私たちの愛の労苦を忘れられません。神は私たちが神を喜ばせようとする努力をいつも報いてくださいます。

はい、彼らは世界の中を歩いたが、その中に交じりませんでした。彼らは世界のシステムに自分たちに対して勝たせようとしたことがありませんでした。あの時代の著名な人々が政府のご機嫌を取るために御霊の意

マ・カトリック教会に属しているのです。彼らはキリストの御血について話しているが、自分たちの贖いを金銭で支払い、そして罪の赦しを金もしくは苦行で買います。より裕福な人々はレオ10世教皇がまだ犯していない罪のために免罪符を買うことを許したことに喜んだ、なぜなら彼らは教皇が彼らの罪をすでに許したと知っているのです、何の良心の呵責もなく彼らの恐ろしい犯罪を計画して実行することができるからです。神の御言葉は彼らから隠されたため、真理を知る人などいるのですか、いやいけません。真理は御言葉からのみ来るため、人々はローマ・カトリックの地下牢に閉ざされ、死を待ち、そして死後の裁きを待っていました。しかしその大淫婦は殉教者たちの血で酔い、裁きのことを思いよぎることなく、その残虐な悪行を続け、霊的な死と肉体的な死両方で人々を殺しました。

4つ目の時代の終わり、すなわち5つ目の時代の始まりの時、トルコによるコンスタンチノーブルの侵略で、知識のある学者はギリシア語の書物を持って西側に逃げました。その結果、純正の御言葉と真の信者の教えが広められました。大きい影響をもたらしたのはこれらの良い教師たちだけでなく、私たちの現代の印刷技術の基礎にもなった技術が発明され、本の生産を容易にしました。したがって聖書に対する大いなる渇きと

マ・カトリック教会に属しているのです。彼らはキリストの御血について話しているが、自分たちの贖いを金銭で支払い、そして罪の赦しを金もしくは苦行で買います。より裕福な人々はレオ10世教皇がまだ犯していない罪のために免罪符を買うことを許したことに喜んだ、なぜなら彼らは教皇が彼らの罪をすでに許したと知っているのです、何の良心の呵責もなく彼らの恐ろしい犯罪を計画して実行することができるからです。神の御言葉は彼らから隠されたため、真理を知る人などいるのですか、いやいけません。真理は御言葉からのみ来るため、人々はローマ・カトリックの地下牢に閉ざされ、死を待ち、そして死後の裁きを待っていました。しかしその大淫婦は殉教者たちの血で酔い、裁きのことを思いよぎることなく、その残虐な悪行を続け、霊的な死と肉体的な死両方で人々を殺しました。

4つ目の時代の終わり、すなわち5つ目の時代の始まりの時、トルコによるコンスタンチノーブルの侵略で、知識のある学者はギリシア語の書物を持って西側に逃げました。その結果、純正の御言葉と真の信者の教えが広められました。大きい影響をもたらしたのはこれらの良い教師たちだけでなく、私たちの現代の印刷技術の基礎にもなった技術が発明され、本の生産を容易にしました。したがって聖書に対する大いなる渇きと

願望が答えられることができたのです。

神はたくさんの方のある人をおこされ、ルターはその中の一人にすぎないのです。カルヴァンとツヴィングリはもう二人の卓越した人物で、それ以外にも多くの人々がいて、名前がそこまで知れ渡っていない人々もいます。しかし、これらのことは徒労に終わってなかったが、神の方のある働きは事実上まさにこれらの人々に阻まれました。その中の一つとして、彼らはニカイア公会議での教会と政府の結婚を反対せず、むしろその連合を促進しました。

御言葉による支持がないにも関わらず、政府による福音の保護は歓迎されました。ヘンリー8世による宗教改革の支持と教皇の権利に対する反抗から、「人の憤りまでも神をたたえる」[詩篇76:10]ということを見ることができ、これはペンテコステの真理と全能の神からの保護に全く及ぶことができません。

ルターが常に当地教会に対する外的な干渉に反対する教えをしていたにも関わらず、彼は人々の心から「司教、大司教」のような教会政府の概念を消すことができませんでした。したがって教会は正しい方向へ1歩進んだが、依然と束縛されているため、まもなくすると

願望が答えられることができたのです。

神はたくさんの方のある人をおこされ、ルターはその中の一人にすぎないのです。カルヴァンとツヴィングリはもう二人の卓越した人物で、それ以外にも多くの人々がいて、名前がそこまで知れ渡っていない人々もいます。しかし、これらのことは徒労に終わってなかったが、神の方のある働きは事実上まさにこれらの人々に阻まれました。その中の一つとして、彼らはニカイア公会議での教会と政府の結婚を反対せず、むしろその連合を促進しました。

御言葉による支持がないにも関わらず、政府による福音の保護は歓迎されました。ヘンリー8世による宗教改革の支持と教皇の権利に対する反抗から、「人の憤りまでも神をたたえる」[詩篇76:10]ということを見ることができ、これはペンテコステの真理と全能の神からの保護に全く及ぶことができません。

ルターが常に当地教会に対する外的な干渉に反対する教えをしていたにも関わらず、彼は人々の心から「司教、大司教」のような教会政府の概念を消すことができませんでした。したがって教会は正しい方向へ1歩進んだが、依然と束縛されているため、まもなくすると

多数の人と違って、わずかだが正しい人々がいます。これらの人々は清潔な衣を着て歩いて、そして彼らは値します。」これらの人々は「完全に主を喜ばせる」歩みで生きる神の真の聖徒たちです。彼らの衣は清潔です。あの時代で人々が歩くとき、服は地面で引きずられ、ゴミと汚れをつけました。これらの人々は世の不道徳をつけないように歩き方に注意しました。彼らは御霊の中において、御霊の中で歩きました。彼らは聖なるもので、主の御前では傷がない者です。したがって彼らは自分たちの目的を実現し、なぜならそれはエペソ1:4で神が私たちに言われた目的なのです、「御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです」。

このはっきりと神の選民は「わずか」と示している節から、この時代について教えてきたことをはっきりと見ることができます。それは混乱した時代でした。**成就されなかった**時代でした。多くの方面から見ると裂かれたもので、神にほとんど完全に責められました。それは弱っていて、病気で、死にそうでした。それは肉の心を持ったプロテスタントの歴史学者たちが作り上げようとした輝かしい時代ではありませんでした。ひと目で見ればこの木は腐って枯れていて、葉っぱがすべて落ち、果実を実らず、形がいびつな、あるいは虫に食べられた実が少し地面に落ちているだけでした。しかしちょっと

多数の人と違って、わずかだが正しい人々がいます。これらの人々は清潔な衣を着て歩いて、そして彼らは値します。」これらの人々は「完全に主を喜ばせる」歩みで生きる神の真の聖徒たちです。彼らの衣は清潔です。あの時代で人々が歩くとき、服は地面で引きずられ、ゴミと汚れをつけました。これらの人々は世の不道徳をつけないように歩き方に注意しました。彼らは御霊の中において、御霊の中で歩きました。彼らは聖なるもので、主の御前では傷がない者です。したがって彼らは自分たちの目的を実現し、なぜならそれはエペソ1:4で神が私たちに言われた目的なのです、「御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです」。

このはっきりと神の選民は「わずか」と示している節から、この時代について教えてきたことをはっきりと見ることができます。それは混乱した時代でした。**成就されなかった**時代でした。多くの方面から見ると裂かれたもので、神にほとんど完全に責められました。それは弱っていて、病気で、死にそうでした。それは肉の心を持ったプロテスタントの歴史学者たちが作り上げようとした輝かしい時代ではありませんでした。ひと目で見ればこの木は腐って枯れていて、葉っぱがすべて落ち、果実を実らず、形がいびつな、あるいは虫に食べられた実が少し地面に落ちているだけでした。しかしちょっと

「しかし、サルディスには、わずかだが、その衣を汚さなかった者たちがいる。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩む。彼らがそれにふさわしい者たちだからである。」

もちろん、「名前」という言葉は「人々」を意味し、使徒行伝第 1 章 15 節で階上の部屋の人々に関して「名前を合わせると約 120 人でした」と述べています。しかし、私にとってそれは単に人を意味するだけではありません。それは、私たちの主が非常に強調して私たちに語られた、あらゆる時代に示されているその真実を明らかにします。つまり、これらの時代の教会システムは、真と偽の 2 つの蔓で構成されています。神はご自身の主権的な目的で、それらすべてをまとめ、教会と呼んでおられます。

この時代で神は彼らを叱ってこう言われているのに注意してください、「サルディスにある教会(編者注: 英文では単数形)。「教会たち」ではなく、彼らを一緒に、「サルディスにある教会」、「私はあなたの行いを知っている...あなたは死んでいる...あなたの行いは完了していない...」と扱われていました。そして神は続けられました、「あなた(このサルディスにある教会)のところに大

「しかし、サルディスには、わずかだが、その衣を汚さなかった者たちがいる。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩む。彼らがそれにふさわしい者たちだからである。」

もちろん、「名前」という言葉は「人々」を意味し、使徒行伝第 1 章 15 節で階上の部屋の人々に関して「名前を合わせると約 120 人でした」と述べています。しかし、私にとってそれは単に人を意味するだけではありません。それは、私たちの主が非常に強調して私たちに語られた、あらゆる時代に示されているその真実を明らかにします。つまり、これらの時代の教会システムは、真と偽の 2 つの蔓で構成されています。神はご自身の主権的な目的で、それらすべてをまとめ、教会と呼んでおられます。

この時代で神は彼らを叱ってこう言われているのに注意してください、「サルディスにある教会(編者注: 英文では単数形)。「教会たち」ではなく、彼らを一緒に、「サルディスにある教会」、「私はあなたの行いを知っている...あなたは死んでいる...あなたの行いは完了していない...」と扱われていました。そして神は続けられました、「あなた(このサルディスにある教会)のところに大

彼女は逃れようとしていた牢屋に再び禁固されてしまいました。

忌まわしい行いの杯がまだ満たされていませんでした。ルターの誤った判断で闘争が扇動され、多くの群衆の死につながってしまっただけでなく、ツヴィングリー派が敬虔なフーブマイヤー博士を迫害して牢屋に入らせ、直接彼を火刑柱に送らなかったとしても、彼が最終的に火あぶりにされたことに対する責任は大きかったです。カルヴァンも例外ではなく、なぜなら彼は一つの神格を理解し教えるセルウェトスの逮捕を命じたからです。政府はその後この兄弟を審問し、火刑柱で火あぶりにした、このことはカルヴァンを狼狽させました。

宗派に熱心な時代があったならば、それはこの悲劇的な時代です。コメニウスのこの時代に対する描写ははっきりとしたものです。彼は「ひとつ必要なこと」という本を書きました。彼は世界を迷宮にたとえ、そこから出る方法は必要ないものから離れ、ひとつ必要なこと、すなわちキリストを選ぶことだと示しています。多数の指導者が多くの宗派を生み出した原因だと彼は言っていて、もうすぐ使える名前がなくなってしまうくらい宗派が多いのです。それぞれの教会が自分こそ本物だと考え、少なくとも最も純粋な、最も真実な部分だと言って

彼女は逃れようとしていた牢屋に再び禁固されてしまいました。

忌まわしい行いの杯がまだ満たされていませんでした。ルターの誤った判断で闘争が扇動され、多くの群衆の死につながってしまっただけでなく、ツヴィングリー派が敬虔なフーブマイヤー博士を迫害して牢屋に入らせ、直接彼を火刑柱に送らなかったとしても、彼が最終的に火あぶりにされたことに対する責任は大きかったです。カルヴァンも例外ではなく、なぜなら彼は一つの神格を理解し教えるセルウェトスの逮捕を命じたからです。政府はその後この兄弟を審問し、火刑柱で火あぶりにした、このことはカルヴァンを狼狽させました。

宗派に熱心な時代があったならば、それはこの悲劇的な時代です。コメニウスのこの時代に対する描写ははっきりとしたものです。彼は「ひとつ必要なこと」という本を書きました。彼は世界を迷宮にたとえ、そこから出る方法は必要ないものから離れ、ひとつ必要なこと、すなわちキリストを選ぶことだと示しています。多数の指導者が多くの宗派を生み出した原因だと彼は言っていて、もうすぐ使える名前がなくなってしまうくらい宗派が多いのです。それぞれの教会が自分こそ本物だと考え、少なくとも最も純粋な、最も真実な部分だと言って

います。一方で彼らは最も苦い増悪でもって互いに迫害し合いました。彼らの間で和解の望みはなく、彼らは和解できない恨みで敵対します。

彼らは聖書からそれぞれの信条を作り出し、これらは彼らの砦と要塞となり、それらの後ろで彼らは塹壕で自分たちを固め、あらゆる攻撃を抵抗します。これらの信仰の告白(ほとんどの場合そうだと認めます)のそれ自身は悪いものだと言いません。しかし彼らは敵対の炎を助長します。これらのものを横に置くことのみが教会の傷を癒すことができます。「宗派の迷宮と様々な信仰告白以外、討論への情熱もあり…」この種の討論によって何が得られるのですか。今までに解決された学術的な論争はあるのですか。一つもありません。それらの数は増える一方です。

サタンは最も優れた討論家です。彼は文字上の論争において一度も負けたことはありません。礼拝において、人の言葉は往々にして神の御言葉よりも多く聞かれます。皆それぞれ好きなように話し、学術的な研究で時間を費やし、そしてそれでもって他人の見解を否定します。しかし、新しく生まれること、及び人がキリストに似るように変わり、神のご性質にあずかる者となること[2ペテロ1:4]については誰も言及しません。「鍵」の

います。一方で彼らは最も苦い増悪でもって互いに迫害し合いました。彼らの間で和解の望みはなく、彼らは和解できない恨みで敵対します。

彼らは聖書からそれぞれの信条を作り出し、これらは彼らの砦と要塞となり、それらの後ろで彼らは塹壕で自分たちを固め、あらゆる攻撃を抵抗します。これらの信仰の告白(ほとんどの場合そうだと認めます)のそれ自身は悪いものだと言いません。しかし彼らは敵対の炎を助長します。これらのものを横に置くことのみが教会の傷を癒すことができます。「宗派の迷宮と様々な信仰告白以外、討論への情熱もあり…」この種の討論によって何が得られるのですか。今までに解決された学術的な論争はあるのですか。一つもありません。それらの数は増える一方です。

サタンは最も優れた討論家です。彼は文字上の論争において一度も負けたことはありません。礼拝において、人の言葉は往々にして神の御言葉よりも多く聞かれます。皆それぞれ好きなように話し、学術的な研究で時間を費やし、そしてそれでもって他人の見解を否定します。しかし、新しく生まれること、及び人がキリストに似るように変わり、神のご性質にあずかる者となること[2ペテロ1:4]については誰も言及しません。「鍵」の

人々をどう扱われるのでしょうか。

「わたしは盗人のように来る。」

古代のサルデイスでは山から急に降りて来て人々を略奪する山賊たちに悩まされました。したがって彼らは御霊が主の到来は盗人のようだとされている意味を十分によく知りました。警戒そして準備は主の到来に備えるのに必須なことです。これは偽のブドウの木へのメッセージであることをわかっています、なぜなら主の到来はノアの日と同じように実現するからです[マタイ24:37]。助かった8人は差し迫る洪水に警戒し、そして警戒して準備したので助かりました[ヘブル11:7]。しかし不敬虔な世は押し流されました。彼らは日々義人とやりとりし、真理を聞いたが、時がすでに遅すぎるまでそれを傍に置きました。古代にいたそれらの完全に肉に属する人々は今日の名ばかりのクリスチャンたちを象徴します。彼らの生活は世のもので満ち、霊的なことを追い求める願望がなくなるまでそれらを楽しみ、まったく警戒せず、主の到来に対してまったく準備しませんでした。

### 賞賛

黙示録3:4、

人々をどう扱われるのでしょうか。

「わたしは盗人のように来る。」

古代のサルデイスでは山から急に降りて来て人々を略奪する山賊たちに悩まされました。したがって彼らは御霊が主の到来は盗人のようだとされている意味を十分によく知りました。警戒そして準備は主の到来に備えるのに必須なことです。これは偽のブドウの木へのメッセージであることをわかっています、なぜなら主の到来はノアの日と同じように実現するからです[マタイ24:37]。助かった8人は差し迫る洪水に警戒し、そして警戒して準備したので助かりました[ヘブル11:7]。しかし不敬虔な世は押し流されました。彼らは日々義人とやりとりし、真理を聞いたが、時がすでに遅すぎるまでそれを傍に置きました。古代にいたそれらの完全に肉に属する人々は今日の名ばかりのクリスチャンたちを象徴します。彼らの生活は世のもので満ち、霊的なことを追い求める願望がなくなるまでそれらを楽しみ、まったく警戒せず、主の到来に対してまったく準備しませんでした。

### 賞賛

黙示録3:4、

真理、「義人は進行によって生きる」、「贖いは主によるもの」を与えられました。彼らは聖書の真理を聞き、それはローマの教義を撤廃して教皇の権限をなくしました。彼らは教会は贖うことはできないという真理を知りました。主の晩餐について理解しました。水による洗礼についての光を持ちました。偶像を撤廃しました。真理？これまでこれほど多くの光が人々を照らした時代はありませんでした。彼らは古い体制を完全に分解し、新しく始まり、神に自分たちを導かせ、教訓に教訓、規則に規則を加えられる十分な光を持ちました[イザヤ28:13]。彼らは真理を受けました。それを望みそして聞きました。

しかし問題は、彼らはどのようにそれを聞いたのでしょうか。彼らはそれを聞いてその上に建設したのか、それとも多くのギリシア人のようにそれを討論そして理論化の対象にしたのでしょうか[使徒17:21]。明らかに、人々は学術的な態度で神の豊かな御言葉を聞き、それを実践することはありませんでした。なぜなら真理を受けた後、神は私たちに心を新たにするように命じられました[ローマ12:2]。もしこれは神の御言葉ならば、もちろんそうなのだが、それに従わなければなりません。従わないと裁きがやって来ます。神殿の守衛が寝ているのが見つかったら、彼らは叩かれ、服は焼かれます。主はこの時代で自分たちのガードをゆめてしまった

真理、「義人は進行によって生きる」、「贖いは主によるもの」を与えられました。彼らは聖書の真理を聞き、それはローマの教義を撤廃して教皇の権限をなくしました。彼らは教会は贖うことはできないという真理を知りました。主の晩餐について理解しました。水による洗礼についての光を持ちました。偶像を撤廃しました。真理？これまでこれほど多くの光が人々を照らした時代はありませんでした。彼らは古い体制を完全に分解し、新しく始まり、神に自分たちを導かせ、教訓に教訓、規則に規則を加えられる十分な光を持ちました[イザヤ28:13]。彼らは真理を受けました。それを望みそして聞きました。

しかし問題は、彼らはどのようにそれを聞いたのでしょうか。彼らはそれを聞いてその上に建設したのか、それとも多くのギリシア人のようにそれを討論そして理論化の対象にしたのでしょうか[使徒17:21]。明らかに、人々は学術的な態度で神の豊かな御言葉を聞き、それを実践することはありませんでした。なぜなら真理を受けた後、神は私たちに心を新たにするように命じられました[ローマ12:2]。もしこれは神の御言葉ならば、もちろんそうなのだが、それに従わなければなりません。従わないと裁きがやって来ます。神殿の守衛が寝ているのが見つかったら、彼らは叩かれ、服は焼かれます。主はこの時代で自分たちのガードをゆめてしまった

力については、教会は「つなぐ」力をほとんど失い、「解く」力のみが残されています... 聖なる儀式は連合、愛、そしてキリストの中の私たちのいのちの象徴であるべきだが、それが苦々しい論争の場、互いに憎しみ合う原因、派閥主義の中心となってしまいました...

簡単に言えば、キリスト教は迷宮となってしまったのです。信仰は何千もの小さなパーツに割かれてしまい、その中のひとつを受け入れないとあなたは異端とみなされてしまいます...何が助けになるのでしょうか。必要なことはただ一つ、キリストに戻り、キリストを唯一のリーダーとして見なし、主の歩みの中で歩み、ゴールにたどり着くまで他の道を絶ち、信仰において一つになるのです[エペソ4:13]。天の主があらゆることを聖書の上に建てられたのと同じように、私たちはおのおのの特別な宗派を離れ、私たち皆に与えられた、神の明かされた御言葉に満足すべきです。聖書を手に持ってこう叫ぶべきです：私は神がこの本の中で明かされたことを信じます、私は従順に主の命令に従います、私は主が約束されたことを待ち望みます。クリスチャンよ、聞きなさい。いのちの形はひとつだが、死は何千もの様式で私たちのところにやってきます。キリストはひとつだが、アンチキリストは何千もいます...だから知っておくべきです、クリスチャンよ、唯一必要なことは何なのかを。あ

力については、教会は「つなぐ」力をほとんど失い、「解く」力のみが残されています... 聖なる儀式は連合、愛、そしてキリストの中の私たちのいのちの象徴であるべきだが、それが苦々しい論争の場、互いに憎しみ合う原因、派閥主義の中心となってしまいました...

簡単に言えば、キリスト教は迷宮となってしまったのです。信仰は何千もの小さなパーツに割かれてしまい、その中のひとつを受け入れないとあなたは異端とみなされてしまいます...何が助けになるのでしょうか。必要なことはただ一つ、キリストに戻り、キリストを唯一のリーダーとして見なし、主の歩みの中で歩み、ゴールにたどり着くまで他の道を絶ち、信仰において一つになるのです[エペソ4:13]。天の主があらゆることを聖書の上に建てられたのと同じように、私たちはおのおのの特別な宗派を離れ、私たち皆に与えられた、神の明かされた御言葉に満足すべきです。聖書を手に持ってこう叫ぶべきです：私は神がこの本の中で明かされたことを信じます、私は従順に主の命令に従います、私は主が約束されたことを待ち望みます。クリスチャンよ、聞きなさい。いのちの形はひとつだが、死は何千もの様式で私たちのところにやってきます。キリストはひとつだが、アンチキリストは何千もいます...だから知っておくべきです、クリスチャンよ、唯一必要なことは何なのかを。あ

あなたはキリストのところに戻るか、アンチキリストのように破壊に向かうか、どちらかを歩むことになります。もしあなたは賢く、いのちを望むならば、いのちのリーダーに従いなさい。

しかし、あなたがたクリスチャンたち、携挙のために喜びなさい、天におられますリーダーの話、「わたしのところに来なさい」を聞いて...声そろってこう答えてください、「主よ、行きます」。

ただいまこの時代が宗派の霊が大きく成長させたと言いました。もしコリント人の、「私はパウロにつく、私はケファに」という態度が現れたことがあるならば、それはこの時です。ルター派、フス派、ツヴィングリ派などがありました。主の身体がこのように分割されたのは惨めなことです。彼らは名乗って生きているが、死んだものです。彼らは確かに死にました。彼らは組織化した途端死にました。大きいグループたちは組織化し、政府との結婚に自分たちを縛りつけました。それが原因です。彼らは終わってしまいました。ローマ・カトリック教会を批判したルター派の信者もその中にいました。彼らは政治と霊的なことが連合するのは正しくないのを知っていたが、しかしルターは(ペテロがユダヤ人たちのことであつた)戻って神の代わりに政府

あなたはキリストのところに戻るか、アンチキリストのように破壊に向かうか、どちらかを歩むことになります。もしあなたは賢く、いのちを望むならば、いのちのリーダーに従いなさい。

しかし、あなたがたクリスチャンたち、携挙のために喜びなさい、天におられますリーダーの話、「わたしのところに来なさい」を聞いて...声そろってこう答えてください、「主よ、行きます」。

ただいまこの時代が宗派の霊が大きく成長させたと言いました。もしコリント人の、「私はパウロにつく、私はケファに」という態度が現れたことがあるならば、それはこの時です。ルター派、フス派、ツヴィングリ派などがありました。主の身体がこのように分割されたのは惨めなことです。彼らは名乗って生きているが、死んだものです。彼らは確かに死にました。彼らは組織化した途端死にました。大きいグループたちは組織化し、政府との結婚に自分たちを縛りつけました。それが原因です。彼らは終わってしまいました。ローマ・カトリック教会を批判したルター派の信者もその中にいました。彼らは政治と霊的なことが連合するのは正しくないのを知っていたが、しかしルターは(ペテロがユダヤ人たちのことであつた)戻って神の代わりに政府

## 裁き

黙示録3:3、

「だから、どのように受け、聞いたのか思い起こし、それを守り、悔い改めなさい。目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。わたしがいつあなたのところに来るか、あなたには決して分からない。」

この節についての別の翻訳のバージョン(ウエスト訳)を見てほしいです、

「そのためどのように受けたのか(永久な預金としての真理)、そして(真理を)どのように聞いたのかを思い出し、それ(真理)を守り、いますぐ心を変えなさい。」

この節とても明らかなのは、神は彼らに永久な預金として真理を与えられたということです。それは受け入れられ、永久に彼らのものです。彼らはそれをどう扱ったかを見てみよう、彼らはそれを尊重しましたか。彼らは尊重しました。彼らは福音全体についての基本的な

## 裁き

黙示録3:3、

「だから、どのように受け、聞いたのか思い起こし、それを守り、悔い改めなさい。目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。わたしがいつあなたのところに来るか、あなたには決して分からない。」

この節についての別の翻訳のバージョン(ウエスト訳)を見てほしいです、

「そのためどのように受けたのか(永久な預金としての真理)、そして(真理を)どのように聞いたのかを思い出し、それ(真理)を守り、いますぐ心を変えなさい。」

この節とても明らかなのは、神は彼らに永久な預金として真理を与えられたということです。それは受け入れられ、永久に彼らのものです。彼らはそれをどう扱ったかを見てみよう、彼らはそれを尊重しましたか。彼らは尊重しました。彼らは福音全体についての基本的な

です)。彼らは追いつかれ、あらゆる偉大で栄光な成果が失われました。彼らは再び捕らえられていないが、唯一言えるのは、彼らは逃亡したということです。御言葉によると彼らはきれいさっぱり逃げられたわけではないのですが、彼らは一度多くの自由を失ってしまったのです。

主はこう言われます、「あなたは再び捕らえられるかもしれない。戻らないように気をつけなさい。戻らないようにするためには警戒して、あなたを捉えようとしている物事に気をつけなさい。さもないとあなたはすべてを失います。今永久に存続するために、残されているものを固め、これ以上失わないように自分自身を力づけなさい。これはあなたがまだ成就していないことを成就する機会です。」しかし彼らは続けましたか。いいえ。彼らは御霊の声を心に留めることなく、もう一つの時代が捕虜になったのです。したがって神は御自分の御心を続けられるように他の人々を起こされました。神は他のすべての宗派にされたのと同じように、ルターの宗派を迂回されました。そして彼らは二度と戻ることはできません。神はさらに前進され、そして新しい時代でさらに多くの真理と少し多くの回復をもたらされなければならなかったのです。

です)。彼らは追いつかれ、あらゆる偉大で栄光な成果が失われました。彼らは再び捕らえられていないが、唯一言えるのは、彼らは逃亡したということです。御言葉によると彼らはきれいさっぱり逃げられたわけではないのですが、彼らは一度多くの自由を失ってしまったのです。

主はこう言われます、「あなたは再び捕らえられるかもしれない。戻らないように気をつけなさい。戻らないようにするためには警戒して、あなたを捉えようとしている物事に気をつけなさい。さもないとあなたはすべてを失います。今永久に存続するために、残されているものを固め、これ以上失わないように自分自身を力づけなさい。これはあなたがまだ成就していないことを成就する機会です。」しかし彼らは続けましたか。いいえ。彼らは御霊の声を心に留めることなく、もう一つの時代が捕虜になったのです。したがって神は御自分の御心を続けられるように他の人々を起こされました。神は他のすべての宗派にされたのと同じように、ルターの宗派を迂回されました。そして彼らは二度と戻ることはできません。神はさらに前進され、そして新しい時代でさらに多くの真理と少し多くの回復をもたらされなければならなかったのです。

を信仰の防護具にしてしまいました。それはあの淫婦から出た初めての名の知れた宗派で、しかしルターが亡くなってからまもなくそれは昔反抗してきたのと同じような聖職階級制度を持つようになりました。この神の運動は、第二世代目になると彼女の母親の羽の下に戻ってしまいました。彼女は知らず知らずそこに戻りました。彼らは自分たちの名を主の御名よりも高く掲げました。彼らは自分たちの名によっても生きています。

そして今日全ての宗派はまったく同じことをしています。彼らは主イエス・キリストの御名ではなく、自分たちの名で生きています。それはそれぞれの教会が各々の礼拝の仕方によって知られていて、神の力によって知られている教会はないのです。それこそが教会を試すものです。そしてこの時代に人々の間にしるしと奇跡がなかったことに気づいてほしいです。彼らは政府の力のために神の力をあきらめました。彼らは自分たちの名前に執着し、それらを偉大なものにしました。それはあのいつもの霊がみんなを自分の羊おりの中に入れようとしていたのです。今日バプテスト派の信者はメソジスト派の信者が自分たちのところに入るように望みます。メソジスト派の信者は長老派の信者たちを変えようとしています。そしてペンテコステ派の信者は他の全ての宗派に入りたいと望みます。皆それぞれが自分こそが

を信仰の防護具にしてしまいました。それはあの淫婦から出た初めての名の知れた宗派で、しかしルターが亡くなってからまもなくそれは昔反抗してきたのと同じような聖職階級制度を持つようになりました。この神の運動は、第二世代目になると彼女の母親の羽の下に戻ってしまいました。彼女は知らず知らずそこに戻りました。彼らは自分たちの名を主の御名よりも高く掲げました。彼らは自分たちの名によっても生きています。

そして今日全ての宗派はまったく同じことをしています。彼らは主イエス・キリストの御名ではなく、自分たちの名で生きています。それはそれぞれの教会が各々の礼拝の仕方によって知られていて、神の力によって知られている教会はないのです。それこそが教会を試すものです。そしてこの時代に人々の間にしるしと奇跡がなかったことに気づいてほしいです。彼らは政府の力のために神の力をあきらめました。彼らは自分たちの名前に執着し、それらを偉大なものにしました。それはあのいつもの霊がみんなを自分の羊おりの中に入れようとしていたのです。今日バプテスト派の信者はメソジスト派の信者が自分たちのところに入るように望みます。メソジスト派の信者は長老派の信者たちを変えようとしています。そしてペンテコステ派の信者は他の全ての宗派に入りたいと望みます。皆それぞれが自分こそが

最も多く提供でき、最も偉大な希望を差し出すことができると主張します。つまり天国に通じるドア、少なくともより豊かな所への入り口に通じる道を提供できると言います。なんたる悲劇でしょう。

この宗派の霊はすべての宗派に自分たちの規則を書かせ、自分たちの信条を教えさせ、自分たちの事務所と教会体制を設立させ、そしてそれぞれが自分のみが神を代表して話す資格があると主張させています。これはまさに教皇とローマカトリックが行なっていることではないのですか!彼らは知らず知らず彼らの母、その淫婦のところに戻ってしまったのです。

この聖句の節の「あなたは、生きていたとは名ばかりで、実は死んでいる」に対するコメントをまとめます。この時代に対して言いすぎることはないです。それは宗教改革をもたらしたが、称賛される代わりに神から最も厳しい譴責を受けました。なぜなら、神は逃げるためのドアを開けてくださったのに、それは直ちに淫婦のところに戻る宗派主義の種を撒いてしまったのです。カトリック教会から離れる運動が始まった時、それは完全に霊的なものではなく、むしろ政治的なものでした。言ったように、多くの人々がプロテスタント側に入ったのはローマカトリックの政治そして金融体制の束縛をひどく

最も多く提供でき、最も偉大な希望を差し出すことができると主張します。つまり天国に通じるドア、少なくともより豊かな所への入り口に通じる道を提供できると言います。なんたる悲劇でしょう。

この宗派の霊はすべての宗派に自分たちの規則を書かせ、自分たちの信条を教えさせ、自分たちの事務所と教会体制を設立させ、そしてそれぞれが自分のみが神を代表して話す資格があると主張させています。これはまさに教皇とローマカトリックが行なっていることではないのですか!彼らは知らず知らず彼らの母、その淫婦のところに戻ってしまったのです。

この聖句の節の「あなたは、生きていたとは名ばかりで、実は死んでいる」に対するコメントをまとめます。この時代に対して言いすぎることはないです。それは宗教改革をもたらしたが、称賛される代わりに神から最も厳しい譴責を受けました。なぜなら、神は逃げるためのドアを開けてくださったのに、それは直ちに淫婦のところに戻る宗派主義の種を撒いてしまったのです。カトリック教会から離れる運動が始まった時、それは完全に霊的なものではなく、むしろ政治的なものでした。言ったように、多くの人々がプロテスタント側に入ったのはローマカトリックの政治そして金融体制の束縛をひどく

きない川となった。」

「そして完成するためには神の完璧な御心と御計画が必要です。ルター派信者は義認のもとで潜在的に聖霊を持ちました、メソジストたちは聖別のもとで潜在的に持ち、今日聖霊は戻って来られ、復興がありました、聖霊はここにおられます。」

「目を覚まし、死にかけている残りの者たちを力づけなさい。」

この聖句が言いたいことは2つの言葉「目を覚ます」そして「力づける」にあります。目を覚ますことはただ起きているのを指すだけではなく、警戒することをも指します。さもないと危険と損失が来るのをほのめかしています。力づけるというのは単に力を与えることだけでなく、永久に存在するために整えて設立することを意味します。この二つの命令は残された真理そのものに関する事で、真理そのものは死にかけている、もしくは「あと少し」で死のうとしています。この御霊の表現は次のような説明を描いてくださいます。肉体的にそして精神的に完全に束縛されていたある奴隷の集団が立ち上がって彼らを捕らえる者から逃げました(もちろんこれはサルデイスという言葉の意味で、逃亡者という意味

きない川となった。」

「そして完成するためには神の完璧な御心と御計画が必要です。ルター派信者は義認のもとで潜在的に聖霊を持ちました、メソジストたちは聖別のもとで潜在的に持ち、今日聖霊は戻って来られ、復興がありました、聖霊はここにおられます。」

「目を覚まし、死にかけている残りの者たちを力づけなさい。」

この聖句が言いたいことは2つの言葉「目を覚ます」そして「力づける」にあります。目を覚ますことはただ起きているのを指すだけではなく、警戒することをも指します。さもないと危険と損失が来るのをほのめかしています。力づけるというのは単に力を与えることだけでなく、永久に存在するために整えて設立することを意味します。この二つの命令は残された真理そのものに関する事で、真理そのものは死にかけている、もしくは「あと少し」で死のうとしています。この御霊の表現は次のような説明を描いてくださいます。肉体的にそして精神的に完全に束縛されていたある奴隷の集団が立ち上がって彼らを捕らえる者から逃げました(もちろんこれはサルデイスという言葉の意味で、逃亡者という意味

皮もしくは保護層であることを証明しています。この外皮の時期はマタイ24:24で、「できれば選ばれた者たちをさえ惑わそうと」と言われた危険な時期です。ああ、人はこのもみ殻、いわゆるペンテコステ時代は本当の種だと感じました。しかしそれは単にこれからやってくる本当の復興が来る時代へののちをつなぐための輸送器にすぎないことが証明されました。その時代には麦の花嫁がエゼキエル47:2-5で言われた力で表されます。

「次に、彼は私を北の門から連れ出し、外を回らせ、東向きの外門に行かせた。見ると、水は右側から流れ出ていた。

その人は手に測り縄を持って東の方に出て行き、千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、それは足首までであった。

彼がさらに千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、水は膝に達した。彼がさらに千キュビトを測り、私を渡らせると、水は腰に達した。

彼がさらに千キュビトを測ると、水かさが増して渡ることのできない川となった。川は泳げるほどになり、渡ることで

皮もしくは保護層であることを証明しています。この外皮の時期はマタイ24:24で、「できれば選ばれた者たちをさえ惑わそうと」と言われた危険な時期です。ああ、人はこのもみ殻、いわゆるペンテコステ時代は本当の種だと感じました。しかしそれは単にこれからやってくる本当の復興が来る時代へののちをつなぐための輸送器にすぎないことが証明されました。その時代には麦の花嫁がエゼキエル47:2-5で言われた力で表されます。

「次に、彼は私を北の門から連れ出し、外を回らせ、東向きの外門に行かせた。見ると、水は右側から流れ出ていた。

その人は手に測り縄を持って東の方に出て行き、千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、それは足首までであった。

彼がさらに千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、水は膝に達した。彼がさらに千キュビトを測り、私を渡らせると、水は腰に達した。

彼がさらに千キュビトを測ると、水かさが増して渡ることのできない川となった。川は泳げるほどになり、渡ることで

嫌っていたからです。したがって、神がペンテコステの終わりの時に純粋な御霊の方式を用いてご自分の働きを成就されたように、この運動は聖霊の特徴を伴った偉大な霊的なものになるべきだったが、それどころかこれは人の憤りまでも神をたたえる働きとなってしまいました。そしてこれはイスラエルがエジプトを出た後、カナンの地に入ることができず、荒野でさまよった歴史と重ね合わせることができます。しかしながらそれでも多くのことが成し遂げられた。少なくともローマ・カトリックのくびきは部分的はずされ、人々は昔のように大なる恐怖を抱かずに神の御言葉を受け入れることができ、御霊の影響に身を委ねることができます。このことはこれ以降の偉大な宣教時代へのドアを開けました。

ティアティラのイゼベルは人々に対する支配をあきらめる気配を見せていません。したがって私たちは彼女の娘であるアタルヤがサルディス時代で頭を上げ、彼女の組織のたくらみで真の種子を締めつけることができると希望を抱いていたことを見ることができます。

### 警告

黙示録3:2、

「目を覚まし、死にかけている残りの

嫌っていたからです。したがって、神がペンテコステの終わりの時に純粋な御霊の方式を用いてご自分の働きを成就されたように、この運動は聖霊の特徴を伴った偉大な霊的なものになるべきだったが、それどころかこれは人の憤りまでも神をたたえる働きとなってしまいました。そしてこれはイスラエルがエジプトを出た後、カナンの地に入ることができず、荒野でさまよった歴史と重ね合わせることができます。しかしながらそれでも多くのことが成し遂げられた。少なくともローマ・カトリックのくびきは部分的はずされ、人々は昔のように大なる恐怖を抱かずに神の御言葉を受け入れることができ、御霊の影響に身を委ねることができます。このことはこれ以降の偉大な宣教時代へのドアを開けました。

ティアティラのイゼベルは人々に対する支配をあきらめる気配を見せていません。したがって私たちは彼女の娘であるアタルヤがサルディス時代で頭を上げ、彼女の組織のたくらみで真の種子を締めつけることができると希望を抱いていたことを見ることができます。

### 警告

黙示録3:2、

「目を覚まし、死にかけている残りの

者たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。」

サルティス時代は復興の時代であり、宗教改革の時代ではないと言えたら良いが、そう言うことはできないのです。御言葉はそれを復興の時代ではなく、それを宗教改革の時代だと確かに呼ばれました。もし復興があったならば、あの時代はもう一つのペンテコステ時代になるべきでした。しかしそうではありませんでした。それに対して最も言えることは、「死にかけている残りの者たちを力づけなさい」です。何かが欠けているのです。おお、はい。もちろん何かが欠けています。この時代は義認がありました。しかしそれは聖別と聖霊によって満たされることを欠けていました。それが神の元のプランでした。それがペンテコステの信者たちが持っていたものです。彼らは義とされ、聖別され、聖霊に満たされました。なぜでしょう。聞いてください、義とされ、聖別されるのは最後に聖霊による洗礼を受けるためです。

それは教会がある理由です。それは神の神殿で、神によって、つまり聖霊によって満たされます。御霊はイエスが地上におられた時に主の中におられ、力のある働きをイエスを通して行われたが、同じ御霊はペンテコ

者たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。」

サルティス時代は復興の時代であり、宗教改革の時代ではないと言えたら良いが、そう言うことはできないのです。御言葉はそれを復興の時代ではなく、それを宗教改革の時代だと確かに呼ばれました。もし復興があったならば、あの時代はもう一つのペンテコステ時代になるべきでした。しかしそうではありませんでした。それに対して最も言えることは、「死にかけている残りの者たちを力づけなさい」です。何かが欠けているのです。おお、はい。もちろん何かが欠けています。この時代は義認がありました。しかしそれは聖別と聖霊によって満たされることを欠けていました。それが神の元のプランでした。それがペンテコステの信者たちが持っていたものです。彼らは義とされ、聖別され、聖霊に満たされました。なぜでしょう。聞いてください、義とされ、聖別されるのは最後に聖霊による洗礼を受けるためです。

それは教会がある理由です。それは神の神殿で、神によって、つまり聖霊によって満たされます。御霊はイエスが地上におられた時に主の中におられ、力のある働きをイエスを通して行われたが、同じ御霊はペンテコ

教師たちで、私たちのこの時代をさえ超えました。あの時代は何を行なったのでしょうか。それは風の中での花粉のように色々な場所へ撒かれました。

「次のステップはなんでしょう。理論的には穀物が形成され、収穫される時期、完成の時期だと考えるでしょう。しかしそうではないのです。もう一つの時期があります。それは種子を包む外皮あるいはもみ殻が形成される時期です。」そしてそれがまさにこの霊的なサイクルで起きたことです。20世紀になり、ラオディキア時代が始まると、聖霊はペンテコステの時と同じように降りて来られたと広く信じられました。人々は異言を話し、異言を話すのは聖霊による洗礼を受けた証拠だと主張しました。私は穀物の畑に何回も行ったことがあり、夏の終わりに小麦を採って手に擦り、麦粒を得ようとしていました。しかし驚いたことに、その外皮の中には麦粒が入っているように見えるのに、その中には麦粒が全くなかったです。これはいわゆるペンテコステ運動についての完璧な描写です。

そしてこれは証明された事実で、これらの人々はある教義のもとで組織化され、そしてそれ以前の組織と同じように彼ら自身を縛りました。これは彼らは本当の種子ではなく、これから来るべき本当の種子の外

教師たちで、私たちのこの時代をさえ超えました。あの時代は何を行なったのでしょうか。それは風の中での花粉のように色々な場所へ撒かれました。

「次のステップはなんでしょう。理論的には穀物が形成され、収穫される時期、完成の時期だと考えるでしょう。しかしそうではないのです。もう一つの時期があります。それは種子を包む外皮あるいはもみ殻が形成される時期です。」そしてそれがまさにこの霊的なサイクルで起きたことです。20世紀になり、ラオディキア時代が始まると、聖霊はペンテコステの時と同じように降りて来られたと広く信じられました。人々は異言を話し、異言を話すのは聖霊による洗礼を受けた証拠だと主張しました。私は穀物の畑に何回も行ったことがあり、夏の終わりに小麦を採って手に擦り、麦粒を得ようとしていました。しかし驚いたことに、その外皮の中には麦粒が入っているように見えるのに、その中には麦粒が全くなかったです。これはいわゆるペンテコステ運動についての完璧な描写です。

そしてこれは証明された事実で、これらの人々はある教義のもとで組織化され、そしてそれ以前の組織と同じように彼ら自身を縛りました。これは彼らは本当の種子ではなく、これから来るべき本当の種子の外

て私の観点を説明しました、「ある時、ある人が畑にトウモロコシを植えるために自分の農場に行きました。彼は切り株を掘り出し、石を除き、土地を耕し、鋤を引き、そして自分のトウモロコシを植えました。毎朝彼は畑の様子を見て、ある朝彼は何も無い土地から無数の小さな葉っぱが出て来たのを見ました。彼は言いました、『神を賛美します、神は私にトウモロコシ畑を与えてくださいました。』」そして私は彼に聞きました、「その人はトウモロコシを手に入れましたか。」

彼は言いました、「ええ、ある意味では彼は得ました。」

私は言いました、「潜在的に、そうです。そしてそれが改革時代にいたあなたがたルター派の人々です、あなたがたは葉っぱを伸ばそうとしていました。わかりますか。トウモロコシは成長し始めました。(暗黒時代の間土の中で腐った後です)。」何個かの節を伸ばした後、大きい莖になりました、そしてある日ひげを生やした房が現れました。あのひげを生やした房が葉っぱを見下ろして言いました、「あなたたち古臭くて型式ばったルター派の人々は何も持っていません。私たちを見てください。私たちは育成者、偉大な宣教師たちです。」あの房の時代はウェスレーの時代です。彼らは最も偉大な宣

て私の観点を説明しました、「ある時、ある人が畑にトウモロコシを植えるために自分の農場に行きました。彼は切り株を掘り出し、石を除き、土地を耕し、鋤を引き、そして自分のトウモロコシを植えました。毎朝彼は畑の様子を見て、ある朝彼は何も無い土地から無数の小さな葉っぱが出て来たのを見ました。彼は言いました、『神を賛美します、神は私にトウモロコシ畑を与えてくださいました。』」そして私は彼に聞きました、「その人はトウモロコシを手に入れましたか。」

彼は言いました、「ええ、ある意味では彼は得ました。」

私は言いました、「潜在的に、そうです。そしてそれが改革時代にいたあなたがたルター派の人々です、あなたがたは葉っぱを伸ばそうとしていました。わかりますか。トウモロコシは成長し始めました。(暗黒時代の間土の中で腐った後です)。」何個かの節を伸ばした後、大きい莖になりました、そしてある日ひげを生やした房が現れました。あのひげを生やした房が葉っぱを見下ろして言いました、「あなたたち古臭くて型式ばったルター派の人々は何も持っていません。私たちを見てください。私たちは育成者、偉大な宣教師たちです。」あの房の時代はウェスレーの時代です。彼らは最も偉大な宣

ステの教会に戻り、その信者はイエスがされたのと同じ働きを行いました。この時代はそのような働きがありませんでした。ああ、彼らは記された御言葉を持っているが、(啓示された御言葉を持ちません)。これが宗教改革の時期でした。しかし、小さな群れよ、恐るな、神はこう言われました、「わたしは償う」。そしてこの改革はその始まりとなります。(主の約束によると)主は暗黒時代のサタンからの深みから教会を取り戻され、ペンテコステの時、最初の頃の教会にあったような神の深みの中に連れて行かれます。

気をつけてください、そしてこれをわかってください。私が読んだこの2節目でこう書かれています、「わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。」「完了していない」の本当の意味をわかっていますか。それは「成就されていない」という意味です。この時代は成就されていない時代でした。それは回復の始まりに過ぎないのです。それが聖書がこの時代を復興ではなく改革と呼んだと私が言った理由です。それは義認、つまり救いはすべて神によるものを意味する教義で始まりました。ああ、ルターはいかに神の主権そして選びを教えたのでしょうか。彼はそれはすべて恵によるものだと知っていました。彼は教会を聖職階級制度による統治から分離させました。彼は偶像を倒

ステの教会に戻り、その信者はイエスがされたのと同じ働きを行いました。この時代はそのような働きがありませんでした。ああ、彼らは記された御言葉を持っているが、(啓示された御言葉を持ちません)。これが宗教改革の時期でした。しかし、小さな群れよ、恐るな、神はこう言われました、「わたしは償う」。そしてこの改革はその始まりとなります。(主の約束によると)主は暗黒時代のサタンからの深みから教会を取り戻され、ペンテコステの時、最初の頃の教会にあったような神の深みの中に連れて行かれます。

気をつけてください、そしてこれをわかってください。私が読んだこの2節目でこう書かれています、「わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。」「完了していない」の本当の意味をわかっていますか。それは「成就されていない」という意味です。この時代は成就されていない時代でした。それは回復の始まりに過ぎないのです。それが聖書がこの時代を復興ではなく改革と呼んだと私が言った理由です。それは義認、つまり救いはすべて神によるものを意味する教義で始まりました。ああ、ルターはいかに神の主権そして選びを教えたのでしょうか。彼はそれはすべて恵によるものだと知っていました。彼は教会を聖職階級制度による統治から分離させました。彼は偶像を倒

しました。祭司に罪の告白をすることを撤廃しました。教皇を否定しました。始まりはすごく良かったが、神はその1500年前にすでにこう言われました、「ルター、あなたは物事を始めようとしているが、あなたの時代では成就されず、わたしはそれを後にとっておきます。」ハレルヤ!私たちの神はすべてを掌握されています。主は最初から結末をご存知です。はい、ルターは主の使者でした。ルターの欠点を調べるとそのように見えません。しかしヨナという人がいて、彼のいのちにも欠点がありました。彼の行いから私たちはそうだと認めたくないが、彼は預言者でした。しかし神は彼らは御自分のものだとご存知で、ヨナに対してされたように、神はご自分の方法をお持ちです。主はあの時代のルターに対してご自分の方法をお持ちであり、万物の結末までご自分の方法をお持ちです。

これは成就されなかった時代でした。改革の時代でした。しかしそれが神が望まれることでした。この点について、非常に素晴らしいルター派の兄弟で西部のとても良い神学校の校長だった方に過去にしたのと同じ方法で説明したいと思います。私は一緒にディナーをとり、聖霊について話するように彼のところに招待されました。彼は多くのことについて困惑し、そして私に言いました、「私たちルター派の人々は何を得たのでし

しました。祭司に罪の告白をすることを撤廃しました。教皇を否定しました。始まりはすごく良かったが、神はその1500年前にすでにこう言われました、「ルター、あなたは物事を始めようとしているが、あなたの時代では成就されず、わたしはそれを後にとっておきます。」ハレルヤ!私たちの神はすべてを掌握されています。主は最初から結末をご存知です。はい、ルターは主の使者でした。ルターの欠点を調べるとそのように見えません。しかしヨナという人がいて、彼のいのちにも欠点がありました。彼の行いから私たちはそうだと認めたくないが、彼は預言者でした。しかし神は彼らは御自分のものだとご存知で、ヨナに対してされたように、神はご自分の方法をお持ちです。主はあの時代のルターに対してご自分の方法をお持ちであり、万物の結末までご自分の方法をお持ちです。

これは成就されなかった時代でした。改革の時代でした。しかしそれが神が望まれることでした。この点について、非常に素晴らしいルター派の兄弟で西部のとても良い神学校の校長だった方に過去にしたのと同じ方法で説明したいと思います。私は一緒にディナーをとり、聖霊について話するように彼のところに招待されました。彼は多くのことについて困惑し、そして私に言いました、「私たちルター派の人々は何を得たのでし

ようか。」

私は言いました、「まあ、あなたがたはキリストを持っています。」

彼は言いました、「私たちは聖霊がほしいです。私たちはそれを手に入れたと思いますか。」

私は言いました、「潜在的に、あなたがたはそこへ向かって信じています。」

彼は言いました、「潜在的にとおっしゃいましたが、どういう意味ですか。私たちは神を渴望しています。ペンテコステと御霊の賜物についての本を読み、私たちの中の何人かが著者に会うためにカリフォルニアに飛びました。そこに着いた時、彼は自分はその本を書いたけれども、賜物を持っていないと私たちに言いました。今あなたの伝道事業の中での賜物の働きを見た時、あなたと話したいと思いました、なぜならあなたならきっとそれらについて何かをご存知だからです。」

この兄弟の神学校は郊外にあり、何エーカーもの農地に囲まれ、学生たちはそこで働いて学費を稼ぐことができます。彼自身も工場と農場を持っていて、雇用を提供しています。そのため、彼の農場を例えに使っ

ようか。」

私は言いました、「まあ、あなたがたはキリストを持っています。」

彼は言いました、「私たちは聖霊がほしいです。私たちはそれを手に入れたと思いますか。」

私は言いました、「潜在的に、あなたがたはそこへ向かって信じています。」

彼は言いました、「潜在的にとおっしゃいましたが、どういう意味ですか。私たちは神を渴望しています。ペンテコステと御霊の賜物についての本を読み、私たちの中の何人かが著者に会うためにカリフォルニアに飛びました。そこに着いた時、彼は自分はその本を書いたけれども、賜物を持っていないと私たちに言いました。今あなたの伝道事業の中での賜物の働きを見た時、あなたと話したいと思いました、なぜならあなたならきっとそれらについて何かをご存知だからです。」

この兄弟の神学校は郊外にあり、何エーカーもの農地に囲まれ、学生たちはそこで働いて学費を稼ぐことができます。彼自身も工場と農場を持っていて、雇用を提供しています。そのため、彼の農場を例えに使っ